

2014年4月のおすすすめ地酒

☆消費税の二段階にわたる引き上げに伴い、篠田酒店では互版の価格表示は今後基本的に商品本体価格(消費税抜きの価格)で表示していきます。

志太泉・純米吟醸入魂山田錦(生) 1.8ℓ 2,800円(税込み3,024円)

IPAアーツと香り高くフルーティでジューシーなインパクト抜群のお酒。ソフトでライト。新酒にして、もうすでに飲み頃。う、おいしいです。

志太泉・焼津山田錦純米吟醸 1.8ℓ 2,700円(税込み2,916円)

今年もかなり上質です。グラスから吟醸香がふんわり出てくる。シャープでスマートビューティフルなテイスト。(やったら英語テックで失礼シマッタ)

志太泉・兵庫山田錦50%純米吟醸 1.8ℓ 3,500円(税込み3,780円)

今年の純吟の味は、結構気に入った。丸みがあり、ふくらみある味で、バランスが良い。お値段も5,000円(税込み5,500円)と、お値打ちです。

志太泉・古里凱旋純米(愛国米100%) 1.8ℓ 2,500円(税込み2,700円)

甘み、旨み、豊かな甘口純吟。白隠正宗の愛国米純米と肩比べをしよう!

初鳥・特別本醸造プラスあい 1.8ℓ 2,267円(税込み2,448円)

今年の初鳥の市販酒の中で、特においしいと思った「本」のお酒。鳥印吟醸に負けないくらい爽やかな吟醸香が立ち、なめらかな味わい。

お酒の味は四季折々変化していくものであるが、この酒は、春の今のこの時期に呑んで頂ければ、爽やかさにあふれていて、超おすすめ。

英君・特別純米槽口詰め無3過生原酒 1.8ℓ 3,000円(税込み3,240円)

この酒も心打たれる酒の本。バナナのような香ばしさ。ふくらみのある旨み、酸味と甘みの絶妙なバランス。余いんの心地良さと。とても良い酒です。是非飲んで頂きたいおすすめの本。

英君・紫の英君純米吟醸無濾過生原酒 1.8ℓ 3,200円(税込み3,456円)

山田錦の純米吟醸。今年の紫は何と云っても香りがして、味わい、まろやか。純米酒の「コ」が、切れ良く流れていく。このだ気に入って、つい酔った勢いで、英君社長に「うめえ」と酔っぱらいX-1をしてしまったほどの酒。(09201)

開運・愛山・純米吟醸無3過生原酒 1.8ℓ 3,600円(税込み3,888円)

(掛川市) やつとやつと今年の愛山入ってきた。おまたせです。

開運・伝波瀬正吉純米大吟醸半瓶取り(生) 1.8ℓ 10,000円(税込み10,800円)

今年の青森県産品の純米の部がダントツ1位になった。出品酒入荷。半瓶取り5番、半瓶取り6番。

篠田酒店 地酒 第百廿九号

2014年4月篠田酒店のおすすすめ地酒はこれだ!

志太泉・藤枝誉富士 純米吟醸 1.8ℓ 2,600円(税込み2,808円)

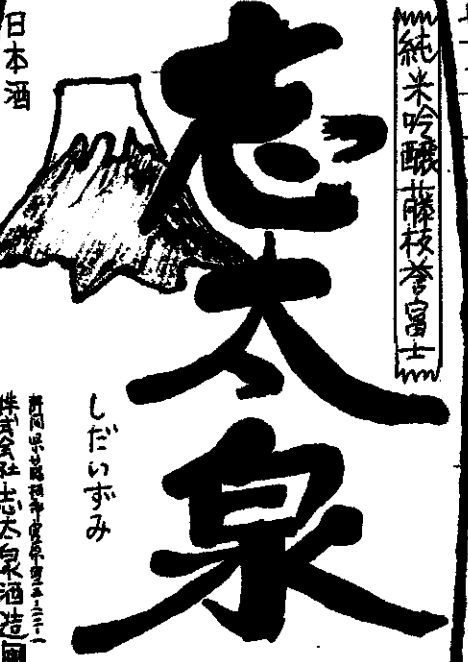
(本体価格) (藤枝市) 今年、志太泉酒造さんはますます注目すべき蔵。先、志太泉酒造におじゃまして、今年の新酒をずらりと試飲させて頂いた。どの酒も「本」本心を込めて醸されているのかわわってくる。では感想も順置に申し上げます。まず、焼津山田錦純米吟醸から、爽やかな、フルーティな、とても良い香りが出て、さらさらとしたシャープな味わい。いかにも志太泉らしいというものが、十二分に発揮された純米吟醸。ウー。今年も良い酒だなあ。次に兵庫山田錦の純米吟醸。こちらは兵庫山田錦の貫禄のようなものを感じさせる味。奥行きのあるコ、丸みのあるまろやかな旨み、ふくらみがあり、旨みがあるが、もたつかず、すっきりと呑める。バランス良い。いつもの年より個人的には好きな味。次は、いよいよ今年新製品である注目、藤枝誉富士純米吟醸。お、いい香り。品の良い、爽やかな香りがあり、やさしい味わい。アツと見たら即買っただけで、

軽やかな甘み、さらさらとした味わい。爽やかな余韻が口中に残る。先日小さなサンガム瓶を試飲した時は、もつとシャープでフラットな味わいに感じたが、この日には、ふくらみや旨みが出ていた。爽やかな、口あたりがやさしく、軽やかな体は、すんなりとしみ込んでいく。感じて呑めるお酒だ。

良い酒だ。なま、八反の純吟や、特本も相変わらず切れや良い。新製品といえば、この愛国米の純米酒も、ニユーフェイス。お米の旨みや甘みが豊かなお酒で、やさしい甘口のお酒。フルーティな華やかさのある入魂純米吟醸生原酒や、とろりとしたマイルドな旨みのHD-1純米大吟醸生原酒や、上立ち香の良さや、やわらかな甘みと、軽やかな吟醸生原酒なども試飲して、これだけ気に入った味だった。全部、どれも納得の味であつた。

の、だの、選んだ、今年の志太泉。ゴスバ。大賞はやはり、藤枝誉富士純米吟醸でしょう。しかし、この酒は、八反の500本しか、ないんだ。そうだとしたら、即買っただけで、

注: 実際には、二んが、タスキは、あつて、ます。



しだいらのみ

純米吟醸 藤枝誉富士

日本酒

義侠・純米吟醸生原酒40%仕込み 1.8ℓ 7,238円(税込み7,817円)

2014年4月のおすすすめ地酒

2014年4月のおすすすめ地酒

3月1日(土) 藤田酒造「ぐいぐい」酒屋紙ぶら3

3月1日(土) 駅南の湧登にて、チーフプロフェッショナルのひきのさん主催で「イケダワインセレクト」2012年春大会が開かれる。とうわさを聞き、湧登にかけつける。山形朝日町のテラウエアのスパークリングやグリサワラン2010年、2011年の呑み比べを経てついにイケダセレクト(自)2012年登場。グリサワランも非常においしいが、やっぱりしのだは、甲州ブドウのワインが好きなのかな。ホツとする。心地の良い軽めの樽香と甲州ブドウのマイルドなコクがマッチしている。チーフもおいしいし、このワインなら1本呑めてしまうな。

3月2日(日) 愛知県の隠れた名酒「義侠」の山忠本家酒造 春の酒会に参加してくる。精米歩合50%以上の酒は、酸がレカリした味で、クラシカルな義侠の味わいた。今年から息子さんが社長を継ぎ、少しだけスタイルを変えたようだ。精米歩合70%以上が強い(わかさや酒造)の酒造。3月7日(金) 志太泉酒造訪問。今年の新酒もズバリと試飲させて頂く。いーい(わかさや酒造)の酒造。

3月7日(金) 志太泉酒造訪問。今年の新酒もズバリと試飲させて頂く。いーい(わかさや酒造)の酒造。

3月8日(土) 愛知県のお客さま服部氏たちと蔵見学に行く。菊川駅前の森本酒造と鳥田駅近くの太村屋酒造場と2軒蔵見学をさせて頂いた。森本酒造さんでは、相変わらずの森本節。「静岡酵母の酒は失敗作だな。だけど失敗した方が酒って売れるだな」というような事をおっしゃっていた。太村屋さんでは日比野社氏が蔵案内をして下さった。大変真面目で、いねいにいねいに説明して下さいました。両蔵元さんは全然タイプが違う蔵であるが、各々鬼力ある静岡自慢の蔵だと感じた。蔵見学の夜の反省会は服部氏の熱い要望で清水の「河良」が開いた。うまさ酒片手に熱く酒談義をした。

3月9日(日) 日本のワインを専門に置いているワインバー「マンドウ」さんの4周年記念の会に参加。まずは4周年おめでとうございます。この会のために山梨県の勝沼町からわざわざグレイスで知られる中央葡萄酒の営業の金子さんが来られていた。この会は6種類のワインとそれぞれそのワインに合う6種類の料理が用意されていた。金子さんのワインの説明と共にワインや料理が順番に出てくる。非常に落ち着いた雰囲気のある優雅なワイン会だった。個人的に気に入った組み合わせは「グレイス シャルドネ 2012」と「魚の子と真魚の煮物」。もう一度このワインと料理を試してみたいと思った。他の5種も、どれもおいしい。リアージュを見せていて非常に楽しいワイン会だった。いろんなワインを集まる会も良いが、このスタイルの方が記憶に残る。おいしい酒も、おいしい料理も、おいしいワインも、おいしい。

梅中梅 春の酒会 720ml 1.429g/l (アルコール度数15.4%) 300ml (アルコール度数6.4%)

3月12日(水) せんすけ日本酒も囲む会に参加。今回は「春の宵と県内の銘酒で」というタイトルで県内の選り抜いた大吟醸を6種類も楽しませました。トツパバツターの磯自慢純米大吟醸中取りヴァンテージ2013年は今年2回目の試飲となる。とろいりとしたなめらかなコクがふくらみ豊かなタイプに仕上がったヴァンテージ。とても完成度高し。正雪、真龍、梅、國香、富士正、開運の大吟醸と11順番に頂いていった。料理も酒好きを泣かせる。「本魚有と菜の花のぬた和え」「鮎唐揚げ」「真鯛刺身」「槍いか」「生湯葉キヤドア添え」「蛤の吸い物」... 何杯でも酒が呑めてしまう。いやー冬りました。うまい(わかさや酒造)の酒造。

3月15日(土) 由比の正雪さんと英君さんの蔵に各々おじゃまして頂く。正隆社長は用事で出かける直前なので忙しそうであった。でもゆっくりいねいに酒の話をして下さった。気がついたら正雪さんの出発時間が14分も過ぎてしまっていた。正隆社長さま、忙しい中、おみません。ありがとうございます。そして10時40分頃お伺いする予定で約束した英君さんに私も20分ほど遅刻。ゆうすけ社長、ごめんなすって。その夜晩しゃくに紫の英君生原酒を呑んでみる。「おー。Xロン様のエレガントな香り。フワとした繊細なコク、マイルドで呑み口良し。うまい。」そのうまさに感激し、酔っ払った勢いで、つい英君ゆうすけ社長に「ウーエー」Xールを2回も送ってしまった。ゆうすけ社長、またまたごめんなさい。

3月18日(火) うちの娘が山村留学を終えるため、近所に長野県の北相木村に行ってきた。北相木村では、村全体で子供たちをあたたかい目で見守ってくれている。あたたかさを感ずる。子供が大変お世話になった。おかげで、よいな。あたたかさを感ずる。子供が大変お世話になった。おかげで、よいな。

3月22日(土) 國香酒造にふらっと行ってきた。表層室にはじめて入った。いーい(わかさや酒造)の酒造。

3月23日(日) 「山田錦を守る会」の有志で由比の正雪さんに蔵見学に行ってくる。今年、崎山副社氏作の純吟は、すばらしい。山影の山田穂も、愛山もすばらしい。とても出荷が楽しみでならない。今回の反省会発表は、由比駅前、すし屋の銀太。くらさわおじ最高! 正雪最高!

3月25日(火) 静岡県清酒金監評会一般公開の日。純米の部の首席の開運は、本当にすばらしく、心も打たれるお酒だった。正雪、葵天下、英君、磯自慢、天虹、喜久酔、千代乃峯なども呑み口良かった。國香も流石の味わい。香りがすいれ、酸と甘みのバランスもとれた。すばらしい純米大吟醸の逸品。國香の出品酒と市販酒の差がない。酒なので市販されてくる日、超楽しみだ。

3月26日(水) 初島醸造訪問。初島に来て2年目の外村一社氏さんの新酒の味を味わわせて頂く。初島/特等プラスエがすばらしい。急冷美酒も、おいしい。おいしい酒も、おいしい料理も、おいしいワインも、おいしい。